

子どもが待ち望む家庭訪問とは

Q1: どういった目的で行くのがいいのでしょうか？

あなたの一番の味方で、一番の理解者だということを伝えるのが最も重要な目的です。

Q2: いつ、誰が行くのがいいのでしょうか？

時間帯は放課後を中心に、子どもと約束をしてから行くのがいいでしょう。

担任を中心として、副担任や学年団、養護教諭、部活動の顧問など校内で子どものことを支援できる教職員がチームで訪問できるといいですね。

* 子どもたちは、学校が終る時間が近づくと精神的に開放されます。

Q3: 注意しなければならないことはなんですか？

まず本人に訪問することの確認をとることです。

不安や緊張の強い子どもに対しては、無理に登校を促したりしないようにしましょう。

「これ以上休むと勉強がわからなくなるよ」などと脅迫したり、「やればできるのに」「もう少し頑張れば…」と励ましすぎることは、ますます子どもを追い詰めてしまいます。

最初に「今日は 時まで一緒に遊ぼうね」と滞在時間の目安を伝えておきましょう。

本人の緊張が高い場合には、予定時刻より少し早めに行ってみましょう。 * 遅刻は厳禁！



Q4: 訪問したときにはどんなことをすればいいのですか？

本人の今の気持ちを分かろうとすることが何より大切です。そのためには本人の話に耳を傾けることから始めましょう。

本人の好きなこと(例えばゲームやプラモデルの製作、ぬり絵、折り紙など)と一緒にします。同じ体験をすることによって子どもの気持ちが分かります。子どもも「一人より二人のほうが楽しい」という、人とかかわることの楽しさを感じることが出来ます。

本人に会えない場合も、手紙を置いて来たり、葉書きを出すなどして「わたしはあなたのことを大切に思っているよ」というメッセージを子どもに伝えましょう。

* 高知市不登校対策支援委員会(プロジェクトチーム)では、不登校の予防・対応のポイントをわかりやすく紹介するために、この「楽しい学校・学級づくりのために」をシリーズでお届けします。ぜひ日々の教育活動にお役立てください。